農林水産省登録
第２３００６号

病害から果樹をしっかり守る

果樹用殺菌剤

フルーツセイバー®

りんご 黒星病

りんご うどんこ病

りんご モニリア病

なし 黒星病

ぶどう 灰色かび病

かき 灰色かび病

もも 灰星病

おうとう 灰星病

かんきつ 灰色かび病

かんきつ そうか病

フルーツセイバーは三井化学アグロ(株)の登録商標です。

フルーツセイバー®

農林水産省登録：第23006号
有効成分：ペンチオピラド……15.0%
人畜毒性：普通物※
※「毒物および劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

1 幅広い病害防除スペクトラム

モニリア病、黒星病、うどんこ病、赤星病、斑点落葉病、黒点病、灰色かび病、黒とう病、灰星病、幼果菌核病等に対し、高い防除効果を示します。

2 既存剤耐性菌にも有効

ジカルボキシイミド剤、EBI剤など既存の薬剤に耐性を示す灰色かび病菌、黒星病菌にも優れた防除効果を示します。

3 優れた予防効果

分生胞子の発芽阻害に特に優れるため、発病前から発病初期の予防的散布が効果的です。また、病原菌の種類によっては、胞子形成阻害作用が強く、二次感染の防止も期待できます。

4 多くの作物で収穫前日まで使用可能

りんご、なし、おうとう、もも、ネクタリン、小粒核果類、かんきつ、かきは収穫前日まで、ぶどうは収穫7日前まで使用可能で、幅広い時期でご活用いただけます。

5 汚れの少ないフロアブル製剤

フロアブル製剤なので汚れが少なく、水和剤と比べきれいに仕上がります。

■適用病害および使用方法

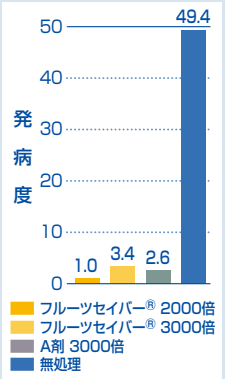
2021年9月29日現在の登録内容

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペンチオピラドを含む農薬の総使用回数
おうとう	灰星病、幼果菌核病、炭疽病、褐色せん孔病	1500倍	200～700ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
なし	黒星病、赤星病、うどんこ病	1500～3000倍					
	黒斑病	1500倍					
	褐色斑点病	1500～2000倍					
ぶどう	灰色かび病、黒とう病、晩腐病 さび病、うどんこ病、褐斑病	1500倍		収穫7日前まで			
小粒核果類	灰星病、すす点病（すもも）、環紋葉枯病						
	黒星病	1500～2000倍		収穫前日まで			
もも	果実赤点病						
ネクタリン	黒星病、灰星病、うどんこ病						
りんご	黒星病、赤星病、モニリア病 すす点病、すす斑病、うどんこ病	1500～3000倍					
	黒点病、斑点落葉病、褐斑病、灰色かび病	1500～2000倍					
かんきつ	灰色かび病、そうか病、黒点病						
かき	灰色かび病、うどんこ病、落葉病 炭疽病、すす点病						
いちじく	さび病	1500倍					

■試験成績

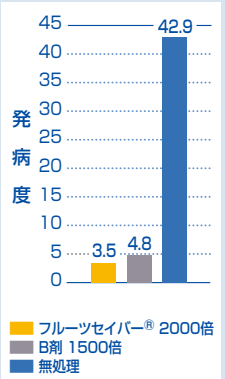
「新農薬実用化試験成績」（日本植物防疫協会）より一部転載

りんご　うどんこ病試験



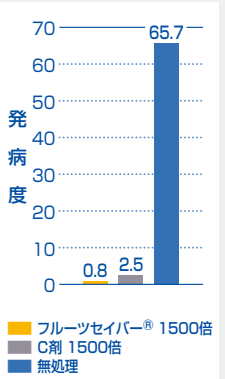
2002年　岩手県植物防疫協会
●発生状況：多発生
●品　種：紅玉（9年生）露地
●処理法：4月27日、5月9日、21日の計3回、動力噴霧器を用いて1樹当たり5～6ℓ散布した。
●調　査：6月10日（最終散布20日後）に各区40新梢を任意に選び全展開葉について発病程度別に調査した。
●考　察：2000倍の効果は対照のA剤と同等からやや優り、3000倍の効果は対照のA剤とほぼ同等の高い防除効果を示した。薬害は認められなかった。

なし　黒星病試験



2003年　鳥取県園芸試験場
●発生状況：多発生
●品　種：幸水（8年生）露地
●処理法：4月14日、28日、5月6日、16日の計4回、動力噴霧器を用いて1樹当たり10ℓを散布した。
●調　査：6月4日（最終散布19日後）に各区果そう葉360枚について発病程度別に調査した。
●考　察：2000倍の効果は対照のB剤とほぼ同等の高い防除効果が認められた。薬害は認められなかった。

ぶどう　灰色かび病試験



2002年　青森りんご試験場県南果樹センター
●発生状況：多発生
●品　種：キャンベル・アーリー（29年生）露地
●処理法：5月29日、6月12日、25日に動力噴霧器を用いて1樹当たり6ℓを散布した（展着剤：新リノー5000倍を加用）。
●調　査：7月3日（最終散布8日後）に各区150果房について発病程度別に調査した。
●考　察：1500倍の効果は対照のC剤と同等の高い防除効果が認められた。薬害は認められなかった。

安定した効果のためには予防的にお使いいただくことをお勧めします。

薬剤耐性菌の出現を避けるため、作用性の異なる薬剤とのローテーション散布でお使いください。
薬剤の効果を確認するための試験においては本剤の登録上の使用回数を上回る場合があります。使用に際しては本剤の使用回数/総使用回数の範囲でご使用ください。

⚠ 効果・薬害等の注意

●使用前によく振ってから使用してください。
●薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
●ぶどうの幼果期（小豆大）以降の散布は、果粉が溶脱するおそれがあるので使用をさけてください。
●りんごに使用する場合は、開花期までの散布で果そう葉に褐変または黄変を伴う落葉を生じるおそれがあるので注意してください。
●本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意してください。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

⚠ 安全使用上の注意

●本剤は眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください。

保管：直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

万一、誤食・誤飲した場合には、速やかに医師の手当を受けてください。皮膚などにかかった場合には、十分な水で洗い流してください。さらに、異常を感じた場合は、医師の手当を受けてください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。○ラベルの記載以外には使用しないでください。○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。○空容器などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。○防除日誌を記帳しましょう。

※本製品は農業用殺菌剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。
※本印刷物は2021年9月29日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

FSF1F01N

三井化学アグロ株式会社
東京都中央区日本橋1-19-1日本橋ダイヤビルディング
ホームページ https://www.mitsui-agro.com/